

凜と立つ

誠心一筋に生き 人の幸せの支えとなれ
多治見西高等学校附属中学校だより No.5
2018/10/3 (水) 発行

「生徒が考え、伝える力」

校長 田口 明

台風の影響で公共交通機関が止まり、後期が一日遅れでスタートしました。始業式では生徒によるスピーチが行われました。(3年間で全ての生徒が一人2回、全校の前でスピーチを行います)今回は12名の生徒が、日頃考えていることや気になっていることについて話しました。そのテーマを紹介します。

「前期の反省と後期の目標」「我が家の地震の備えは」「心拍数と寿命」「スタジオジブリの世界観」「自分の地元の人気スポット」「『SNSで「いいね」を押すと』」「光の速さを他と比べる」「広島平和公園の千羽鶴」「外国のインフレ率」「世界初の運動できる車」「人の価値は他者が決める」「日常で疑問をもつことの重要性」

どうでしょうか？テーマを読んだだけでもどんな話だろうと興味がわいてきませんか。生徒は自分の考えをみんなに伝えるために、発表の一週間前頃までにスピーチ原稿をロイロで私に提出します。読ませてもらい、文の推敲やアドバイスを書き込み送り返します。時間のある時は学校でスピーチ練習を行います。今回は期末テスト等で時間がなく個人練習です。みんなに伝わりやすいように、「はっきり発音すること」「ゆっくり話すこと」等を心がけて練習します。そして当日、緊張の中でのスピーチ。一人一人の考えや思いが全校生徒に広がっていきます。聞き手の生徒や教師も内容に引き込まれます。知らないこともたくさんあります。その生徒の心も伝わってきます。全員が集中して聞いています。1分から2分程度のスピーチですが、伝えようとする思いと、受け止める聞き手の思いが会場を包み込み素晴らしい時間でした。



体育祭が間近に迫ってきました。先日、練習が本格的に始まる前に全校集会が行われ、実行委員が目標を伝え、応援団が意気込みを語りました。その中でスローガンを「TEPPEN」とし、「競技の時間や種目は縮減されたが、過去最高の体育祭を目指そう」と呼びかけがあり、大切にしたい重点を「気づく」「考える」「行動する」の三つとする説明がありました。具体的な話もありましたが、初めて参加する1年生は、言葉だけでは難しい。2,3年生も1年前の行事でピンとこない仲間もいるようでした。しかし、次に実行委員は寸劇を用意していました。どう気づき、どのように考え、

どんな行動するかを劇で示しました。仲間の状態に目を向け気づき、自分は何ができるか考え、声を掛け合いながら競技する。まさに、「TEPPEN」を目指す体育祭の具体的な方向が一目で分かるものでした。実行委員会が工夫し、考えや思いをしっかりと伝え、みんなで立ち向かおうという願いが全員で共有されました。体育祭が最高のものになる予感を感じる時間でした。

10月の主な行事予定

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 4日(木) 育友会役員会 | 23日(火) 委員会 |
| 7日(日) 第2回英検 | 24日(水) 人権講話 3年修学旅行前検診 |
| 10日(水) 体育祭りハーサル | 25日(木) 3年保護者対象高校説明会 |
| 12日(金) 体育祭りハーサル | 26日(金) 1年異文化研修事前学習 |
| 13日(土) 体育祭 予備日 14日 | 27日(土) 第4回学校見学会 |
| 15日(月) 振替休業日 | 29日(月) 2年動物学研修事前学習 |
| 19日(金) 第2回漢検 | 31日(水) 芸術鑑賞会 |